

## 単元名 音のスケッチ(3)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 基とする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みを基に音楽をつくる技能を身に付けることができる。
- (2) 二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

06070303\_001

【教材名】 役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう（音楽づくり） 前奏曲第1集から「帆」（鑑賞）  
(P. 46～P. 47)

【準備等】 鍵盤楽器、マリンバ、シロフォン、グロッケン、ビブラフォン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 ドローンとオスティナートを重ねて自分たちの音楽をつくる。</p> <p>★役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう</p> <p>○ア・イそれぞれで使われている音階について知り、音階の響きを聴き比べる。</p> <p>○4人で一つの楽器を使い、①～④の役割を分担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割とそれぞれの音型、使用音と鍵盤の位置を確認する。</li> </ul> <p>○アの部分で、音を重ねて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①から演奏を始め、②③④の順に音を重ねる。</li> <li>・③と④は短い旋律で交互に呼び掛け合う。</li> </ul> <p>○イの部分で、同様に演奏する。</p> <p>○①の演奏するアとイの音の違いを他のパートの人も聴いて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ア→イ→ア→イ…と続けてみる。</li> </ul> <p>○重ね方、強弱、速さなどを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始め方や終わり方なども工夫する。</li> </ul> <p>○中間発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの工夫を確認して、よりよい演奏になるように試行錯誤する。</li> </ul> <p>○グループごとに発表して聴き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンとは、同じ音を伸ばしたり、繰り返したりして、音楽全体を支える役割をもつように設定された音のこと。</li> <li>・オスティナートとは、何度も同じ音型を繰り返して音楽を進める役割のこと。</li> <li>・「帆」を鑑賞してもよい。</li> </ul> <p>【共通事項】音階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループに分け、練習させる。</li> <li>・児童の実態に合わせ、グループ分けをするとよい。</li> <li>・使用する楽器は、マリンバ、シロフォン、グロッケン、ビブラフォンなどが考えられるが、一つの楽器を4人で囲めない場合は「①②をバス木琴、③④はアルト木琴」「①はトーンチャイム、他はグロッケン」のように、複数の楽器を使うことも考えられる。</li> <li>・P. 46の図にあるような隊形で練習させる。</li> <li>・事前に教師が短い旋律の例をつくっておき、聴かせてから練習させるとよい。</li> </ul> <p>【共通事項】音楽の縦と横の関係</p> <p>【評】基にする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせながら演奏する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アの部分と同じように練習させる。</li> <li>・①がアからイに音を変えたら、他も変わっていくことを理解させる。</li> </ul> <p>【評】設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現したり、音楽の仕組みを基に音楽をつくったりする活動を通して「技能」を表現する。</p> <p>【評】役割を生かした音楽づくりをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、音楽をつくる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に「帆」を鑑賞してもよい。</li> </ul>

【 備 考 】